



願  
い  
よ  
届  
け  
!

令  
和  
初  
の  
年  
明  
け

# たかねざわ

議会だより

1

January.2020  
No150

## Contents

表紙写真：令和初の初詣（白鬚神社）

- 第396回（12月）定例会 …………… 2
- 議会報告会（交通指導員さんとのワークショップ）… 12
- 施策要望（地域要望・地産地消の推進など）… 13
- OH豆知識（公選法・あいさつ状の禁止）… 14
- 一般質問（防災・福祉・駅前・共生など6議員が問う）… 15
- 特別企画若い力で農業を守る（4Hクラブ）… 22
- 突撃インタビュー  
～イタリア料理で高根沢を元気UP～ 照井 康嗣さん… 24



# 令和元年度 補正予算 & 追加補正

## 12月 定例会

### 安全かつ確実な給食配送へ 運搬車 2 台更新

整備事業費の増額補正は、学校給食運搬車2台と清掃ダンプ1台を更新するための費用です。給食運搬車は、平成11年、平成12年に購入し、20年、19年経過しており、走行距離は16万キロ、19万キロを超えています。このため、次年度に更新しようと計画していましたが、このうちの1台が、走行中にエンジンが止まってしまつたらブルが続いたことから、補正により予算を確保して、購入をしようとするものです。清掃ダンプ車は、給食残菜の生ごみを運搬するダンプ型の軽トラックで、平成10年車で20年以上経過しており、走行距離は15万キロを超えていることから、合わせて予算計上して購入しようとするものです。なお、納車に給食運搬車は5ヶ月程度、清掃ダンプ車は3ヶ月程度要することから、繰越明許費の設定をするものです。



給食運搬車と給食残菜の生ごみ運搬車

#### 学校給食センター整備事業費

整備事業費の増額補正は、学校給食運搬車2台と清掃ダンプ1台を更新するための費用です。給食運搬車は、平成11年、平成12年に購入し、20年、19年経過しており、走行距離は16万キロ、19万キロを超えています。このため、次年度に更新しようと計画していましたが、このうちの1台が、走行中にエンジンが止まってしまつたらブルが続いたことから、補正により予算を確保して、購入をしようとするものです。清掃ダンプ車は、給食残菜の生ごみを運搬するダンプ型の軽トラックで、平成10年車で20年以上経過しており、走行距離は15万キロを超えていることから、合わせて予算計上して購入しようとするものです。なお、納車に給食運搬車は5ヶ月程度、清掃ダンプ車は3ヶ月程度要することから、繰越明許費の設定をするものです。



#### 第396回議会定例会のあらまし

定例会は、令和元年12月3日から12日までの、10日間で開催しました。議案は、条例の制定1件、補正予算4件、財産の無償譲渡2件など全8件の他、諮問1件、報告1件を審議し、これを3つの常任委員会に付託し、議案や陳情を審議しました。一般質問は6名の議員が行い、防災や農産物活用、道路整備、福祉、外国人居住などについて町政を質しました。最終日には、各常任委員長から委員会の審議結果が報告され、全議案を原案のとおり可決しました。また、追加議案として、条例の一部改正3件、補正予算5件が追加上程され、全議案を原案のとおり可決しました。

### 知っていますか？ 高根沢町の貯金額！

#### 町の基金残高は35億1163万円

基金は、条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置するものと、特定の目的のために、定額の資金を運用するために設置するものがあります。

町の一般会計には、財政調整基金や減債基金、都市計画施設整備基金、地域づくり推進基金など、13の基金がありますが、令和元年度末の基金残高見込み額は35億1163万円となっています。

#### 各種基金残高の推移

千円以下切り捨てて表記

年度	財政調整基金	減債基金	その他特定 目的基金	合計
平成30年度	14億7698万円	4億7996万円	19億4380万円	39億74万円
平成29年度	15億4317万円	4億7948万円	20億3529万円	40億5794万円
平成28年度	13億6613万円	4億7861万円	22億5533万円	41億8万円
平成27年度	12億3118万円	4億7840万円	22億9378万円	40億337万円
平成26年度	12億3086万円	4億7799万円	25億3589万円	42億4475万円

# 公私連携型保育所移行に伴い 2 保育園を無償で譲渡

## たから保育園

無償譲渡する  
財産

### 建物

園舎・ポンプ室・プー  
ル機械室・物置

### 物品

固定資産システム登録  
物品一式（戸棚類・イス  
類・体育用品類・厨房品  
類など）

### 所在地

栃木県芳賀郡芳賀町大  
字芳志戸1024番地

### 名称

社会福祉法人 絆きずなの会

### 代表者

理事長 大根田 安利

### 無償譲渡の理由

公私連携型保育所とし  
て、安定的かつ良質な保  
育の実施を図るため。

### 無償譲渡の相手



町内最大の園児を受け入れている  
「たから保育園」

## ひまわり保育園

無償譲渡する  
財産

### 建物

園舎・倉庫・機械室

### 物品

固定資産システム登録  
物品一式（戸棚類・イス  
類・体育用品類・厨房品  
類など）

### 所在地

栃木県芳賀郡益子町大  
字七井3923番地3

### 名称

社会法人 誠まこと和やわらかい会

### 代表者

理事長 大島 和彦

### 無償譲渡の理由

公私連携型保育所とし  
て、安定的かつ良質な保  
育の実施を図るため。

### 無償譲渡の相手



長く指定管理保育園として運営してきた  
「ひまわり保育園」

町の計画等に対し、  
パブリックコメント  
が実施されました

12月初旬から、1月中  
旬にかけ、住民からの意  
見を聴収するため、5件  
のパブリックコメントの  
募集が行われました。

- ① こども条例（案）
- ② 食育、地産地消推進行  
動計画（案）
- ③ 歯及び口腔の健康づく  
り推進条例（案）
- ④ まち・ひと・しごと創  
生総合戦略（案）
- ⑤ 令和2年度当初予算（案）

### 皆様へお願い

町が策定する重要な計  
画や条例に対し、住民の  
皆様の声を反映できる場  
面が「パブリックコメン  
ト」です。

行政や、一部の関係者  
だけでなく、多くの方が  
町政に参画することで、  
よりよい町づくりができ  
るはずです。

このような機会に、ぜ  
ひ皆様の声を届けてくだ  
さい。

パブリックコメントの  
実施は、町ホームページ  
で検索してください。

# 町民の負託に応えた各議員の賛否!!

上程された議案&概要 賛成：○ 反対：×	澤畑 宏之	高根 博	佐藤 晴彦	鈴木伊佐雄	中山喜美一	加藤 章	齋藤 誠治	梅村 達美	横須賀忠利	小林 栄治	神林 秀治	森 弘子	野中 昭一	鈴木 利二	阿久津信男	結果	掲載ページ	
※ 齋藤武男議員は議長のため採決に加わりません。																		
<b>条例の一部改正等</b>																		
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P6
財産の無償譲渡（たから保育園・ひまわり保育園の建物等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P3
<b>補正予算</b>																		
一般会計 3,410万円を追加し、補正後の予算額は107億8,240万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P2
国民健康保険特別会計 1,443万円を追加し、補正後の予算額は27億6,625万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
後期高齢者医療特別会計 32万円を追加し、補正後の予算額は2億8,044万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	—
水道事業会計 収益的収入及び支出のうち支出から250万円を減額及び資本的支出に1,763万円を追加し、補正後の予算額を7億7,809万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P8
<b>人事案件（諮問）</b>																		
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	—

## 主な追加議案と審議結果

- 第1号～第3号 議員報酬、町長等の給与、職員の給与に関する3つの条例の一部改正
  - 第4号 一般会計に4,021万円を追加補正
  - 第5号 介護保険特別会計に16万円を追加補正
  - 第6号 宝積寺駅西第一土地区画整理事業特別会計に9万円を追加補正
  - 第7号 水道事業会計の収益的収入及び支出のうち支出に11万円を追加補正
  - 第8号 下水道事業会計の収益的収入及び支出のうち支出に15万円を追加補正
- 以上8議案が上程され、全議員賛成により可決しました。

全議案の採決結果を確認したい場合は、高根沢町ホームページ内の「高根沢町議会」を開き「議決結果と採択結果」をご覧ください。また、誌面掲載のQRコードでアクセスしてください。



## 傍聴者の声



宮島重雄さん  
お住まい 宝石台

私は、4年前から定例議会をほぼ傍聴し、常任委員会と議員全員協議会も何回か傍聴させて頂いています。

特に、「元気あっぷ公社」の資本金3,000万円のうち、2,700万円を町が出資していましたが、清算の結果、町に返還された金額は約93万円で、約2,600万円の損失となりますので、もっと議会で取り挙げて頂きたいと思います。

行政の要は、透明性を担保することが最重要であると思いますが、「元気あっぷ公社」の廃業経緯と清算内容を、当局及び議会は町民に分かり易く説明する義務があると考えますが、議会としても説明を求めるべきだと思います。

我々が納めた税金の使い道に対し、町民が厳しく検証する気構えが必要かもしれないと思いました。

# 東小学校跡地の利用方針決定！ 令和3年度から「多目的グラウンド」に

## 跡地利活用外部評価

東小学校の移転新築により、旧東小学校跡地の利活用について、地域の方々の懇談会を開催し、今後の利活用について意見をいただきました。

## 地域の意見

- ・住宅地
- ・宿泊施設
- ・植物工場
- ・運動場
- ・多目的グラウンド
- ・公園、緑地、広場
- ・体験農場
- ・屋内プール

懇談会により出された意見を踏まえ、町は外部委託により、どの様に利活用するのが良いかを評価していただきました。

## 委託先

- 株式会社  
栃木都市計画センター

## 総合評価結果

- ・サッカー場、テニスコート
  - ・多目的グラウンド
  - ・公園、緑地、広場
- に対し、5段階評価のうち「A評価」となりました。

## 方針決定

町は、外部委託の評価に基づき、庁内で検討しました。

## 検討した主な考慮事項

- ① 現状、地域の方がサッカーなどの運動施設として利用されている。
  - ② 旧校舎解体にあたり、約2億8000万円の予算が見込まれる。
  - ③ 本格的な多目的グラウンドや公園整備には、最低でも5億円以上の事業費が見込まれる。
- など、様々な観点から検討した結果、地域開放型で様々な用途・場面で利用できる「多目的グラウンド」として当面活用することに決定しました。



「多目的グラウンド」に変わる東小跡地  
町民のみなさん「有効的」に利活用してください

## 今後のスケジュール

- 令和2年度
  - ・校舎解体工事
  - ・水道、トイレ整備
- 令和3年度
  - ・多目的グラウンドとして利用開始

## 町民の皆さん

### より防災意識を高めませんか

## 台風19号状況報告

10月12日から13日にかけて、13都県にまたがり多大なる被害をもたらした台風19号。

幸いにも、本町は大きな被害はありませんでしたが、少なからず被害は発生しました。

## 災害対応訓練に

参加しましょう

各指定避難所などで開催され、備蓄品の確認や、AED体験、避難時の受付表の作成など、町民の防災意識向上を図るため、毎年開催しています。

会場によっては、ペットの同行避難、災害時要援護者の避難なども行っており、災害が発生した時に慌てずに、適切な判断ができる要因につながる訓練でもあります。

ぜひ、参加していただき、地域の方とのコミュニケーションを図り、自助・共助・公助を理解し、防災意識の向上を果たし、「災害に強い町民がいる町たかねざわ」を共に築いていきましょう。

## 日時

令和2年2月16日

9時から開始

問い合わせ

地域安全課

675-18110

項目	内容
人的被害	死者・行方不明者・ケガ人 0人
住家被害	強風での雨どい破損 1件
非住家被害	事業所事務所へ雨水の吹込み 1件
避難情報	最大避難者数(4避難所): 47世帯 93名
土砂崩れ	中柏崎地内: 1箇所 下柏崎地内: 1箇所
道路通行止め	道路冠水: 3箇所 地域: 文挾、伏久、花岡 各1箇所
農業被害	そば 被害金額: 337万円 パイプハウス: 2棟 被害金額: 23万円

## 総務常任委員会 審議報告

### 主な補正予算

主な補正内容は、  
歳入

- ・農林業センサス委託金 14万円
- ・財政調整基金繰入金 2339万円

### 歳出

- ・農林業センサス事務費 14万円
- ・犬猫の不妊去勢費補助 30万円

## 一般会計 補正予算審議

### 財政調整基金の残額

**Q** 財政調整基金が補正されたが、現時点で、残額はいくらか？

**A** 企画課長

現在の基金残額は9億1745万円である。

### ※農林業センサス調査

**Q** 増額補正の理由と、補助率は？

**A** 企画課長

調査対象件数が、国から示された市町村交付金積算基準では、2189件とされていたが、実情を調査したところ、2368件になったため、増額補正をした。

また、この調査事業は国から委託されたものであるため、補助率は100%である。

※農林業センサス調査とは5年に一度行われる、わが国の農林業の実態と、農林生産の動向を把握する統計調査で、農林行政の推進に必要な基礎資料を、整備することを目的とします。  
令和2年2月1日現在で調査が実施されます。

### 犬、猫の不妊去勢手術

**Q** 増額補正をする理由は？

**A** 環境課長

当初見込んでいた頭数が半年で達したため、同数程度の頭数を見込み、増額補正をした。



適正な育成で命を大切に

種別	補助率	上限額	
		不妊手術	去勢手術
犬	手術費の2分の1	5,000円	3,000円
猫	手術費の2分の1	4,000円	3,000円

2019年4月1日以降に手術をした犬、猫が対象

## 条例改正審査

欠格事由から「成年被後見人、被保佐人」を削除

### 内容

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係条例の整備に関する条例改正

関係法律の施行に伴い、欠格事由から「成年被後見人、被保佐人」が削られるため、次の4つの条例を一括して改正をするものです。

- 1 町職員の給与に関する条例
- 2 町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
- 3 宝積寺駅西第一土地区画整理事業施行に関する条例
- 4 町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

なお、施行日は令和元年12月14日。

### 主な質疑

**Q** 町職員給与に関する条例等において、欠格事由を削るとどのようなものか？

**A** 総務課長

例えば、町職員や消防団員の採用・任命時に、欠格事由により受験や任命希望を制限するのではなく、その権利を認め、採用や任命の審査で、判断する仕組みとなる。

### ※成年被後見人とは

精神上的の障害により、自らが有効な意思表示ができる能力が低下している人で、家庭裁判所より、後見開始の審判を受けた人をいいます。

なお、以前は成年被後見人は選挙、被選挙権を喪失する旨、公職選挙法に規定されていたが、現在は改正され、選挙権は認められています。

### 陳情に関する審査

「厚生年金制度への地方議会議員の加入」を求める意見書採択に関する陳情

### 陳情内容

地方議会議員のみを対象とした、旧地方議会議員年金制度の「復活」を求めるものでなく、一般の会社員と同等に、既存の厚生年金へ地方議会議員が加入できるようにするものです。

### 加入効果として

厚生年金の適用を受けることができ、立候補できる環境が整うことになり、議員を志す新たな人材確保につながる。

### 主な意見及び審査結果

地方自治体の財政の問題や負担額、受給に関する制度の詳細など、続けて検討・研究すべきとの結論となり、全員一致の意見で、「継続審査」にすべきとの結果になった。

# 教育福祉常任委員会 審議報告

## 主な補正予算

主な補正内容は、歳入で県負担金の額の変更と、追加交付があり、歳出は民生費で児童手当などの返還金や、教育費で校内無線LAN設計委託、給食運搬車等の購入費などがありました。

### 歳入

・児童手当国県負担金 223万円

### 歳出

- ・児童福祉事務費 163万円
- ・児童手当事務費 26万円
- ・ICT教育推進事業費 410万円
- ・給食運営費 101万円
- ・学校給食センター整備事業費 1540万円

この他、国民健康保険特別会計で高額医療費の増額補正と、後期高齢者医療特別会計で、広域連合への納付金の増額補正が計上されました。

## 一般会計 補正予算審議

古くなった無線LANの更新

**Q** 全小中学校の校内無線LANを更新するのは？

**A** 学校教育課長

現在、全小中学校に無線LANを導入してあるが、10年以上経過し、通信速度が遅いため、今回すべてを更新するための設計委託費を補正した。

**要望** 機器類は進化が速いので、最先端の物を導入していくべきである。



全学校に導入されている無線LAN

給食を確実に届けるために給食運搬車等を更新

**Q** 現在、給食センターにある車輛の保有状況と、更新する車輛の台数は？

**A** 学校教育課長

現在、運搬車は3台で運行し、町所有が2台、調理等の委託業者イートランド所有が1台です。町所有の運搬車が、購入から約20年が経ち、うち一台に故障が見られ、運搬車2台と合わせ、町所有の清掃ダンプ車1台を更新するため、補正しました。

**要望** 今回の補正に、代替車輛の借上げ料(101万円)が計上されているが、購入時期を夏休み等の長期休業時にすれば、車検に伴う修理が出ても、給食運搬に支障が出ず、購入後の借上げも基本的に必要がなくなるので、効率的な運用を検討してください。

たから保育園&ひまわり保育園 公私連携型保育所として令和2年4月スタート

指定管理保育園(2園)の園舎等を無償譲渡

無償譲渡の経緯

現在、指定管理者に委託している、「たから保育園」と「ひまわり保育園」が、令和2年4月より「公私連携型保育所」になることに伴い、園舎やプール、付帯する建築物・設備・遊具、イスや体育用具などの物品等を、現指定管理者に無償で譲渡し、安定的かつ良質な保育の実施を図る事ができるようにするためです。



公私連携型保育所等の取り扱い(内閣府)

## 主な質疑

**Q** 2つの園の土地の取り扱いはいは？  
また、指定管理から公私連携型に変わるうえで、保育サービスの中長期ビジョンはどう考えているのか？

**A** 国土みらい課長

土地は「無償譲渡」せず、たから保育園に関しては町有地のため「無償貸付け」とし、ひまわり保育園については、借地であるため「無償転貸」とする。

また、公私連携による保育サービスの中期ビジョンは、町の保育は公立保育園のサービスに合わせるような形で行っており、現在の保育を継続すると共に、私立としての独自性も取り入れていく考えでいる。

## 陳情に関する審査

介護福祉職員の給与を当面4万円引き上げることがを国に求める陳情

### 陳情内容

介護現場では、介護職員が不足し、介護が成り立たない深刻な状況に陥っており、その大きな要因が介護福祉職員の低賃金です。

これを改善するため、当面4万円の給与引き上げを求める助成制度の新設を、内閣総理大臣などに求めてほしいという内容です。

### 主な意見及び審査結果

介護報酬の増額を求める要望と理解できるが、介護経営の実態、職員不足と賃金の関係性、国の施策の動向など、多角的視野に立ち、納得いくものかを慎重に判断するため、さらに調査すべきとし、「継続審査」としました。

## 建設産業常任委員会 審議報告

### 主な補正予算

主な補正内容は、歳入で浄化槽設置整備に係る国県補助金の増額と、栃木の元気な森づくり市町村交付金の増額があり、歳出は浄化槽設置整備費補助の増額と、テーブルやベンチなどの木製品整備支援事業の増額がありました。

#### 歳入

・循環型社会形成推進

交付金 379万円

・浄化槽設置整備費補助金

318万円

#### 歳出

・木製品整備支援事業費

110万円

・浄化槽設置整備事業費

982万円

その他、水道事業会計の収益的収入および支出では営業費用の減額補正、資本的支出においては、建設改良費の増額補正が計上された。

### 一般会計 補正予算審議

補助要綱の改正による宅内配管工事費の助成など、浄化槽整備に関する補正

#### Q

内容は？

浄化槽設置整備費補助の補正内容

#### A

上下水道課長

歳入では、浄化槽設置整備に係る国庫及び県補助金の増額補正である。歳出は、浄化槽設置整備費の増額補正で、浄化槽設置申請の増加に伴う補正である。

#### Q

申請件数が増えている要因は？

#### A

上下水道課長

平成30年度は47件、今年度は現在39件で、今後増える見込みである。

また、今年度からの宅内配管工事費限度額30万円の補助制度も要因と考えられる。

なお、この制度は、県内で、宇都宮市と高根沢町の2市町である。



浄化槽設置できれいな生活環境を

### 元気な森づくり

#### Q

何か？

農林水産業県補助金の使い道は

#### A

産業課長

歳入では、栃木の元気な森づくり市町村交付金の決定に伴う補正で、歳出は木製品整備支援事業で、「道の駅たかねざわ元気あつむら」の休憩等に利用する、木製テーブル等の購入費の増額補正である。

元気な森づくり市町村交付金は、県産材を使用する等が趣旨であり、審査基準にある既製品ではない製品で、テーブル20台（単価2万5000円）ベンチ40脚（単価1万5000円）の予定である。

### 暮らしの安心へ 上水道整備

#### Q

修繕費等の補正内容は？

#### A

上下水道課長

補正の主な内容は、収益的支出における、宝積寺配水場の施設解体等の完了に伴う修繕費の減額。また、資本的支出における配水管布設替工事費の増額の補正である。

#### Q

配水管布設替工事の場所や当初予算額は？

#### A

上下水道課長

阿久津中学校東側の踏切で、今まで踏切の下に配水管は通っていなかったのが、新たに配水管を通すための工事である。

予算額は、2840万円だが、JRとの協議により4620万円に増額となり、工事はJR関係業者になる予定である。



中台地内の大谷踏切 お金がかかってもインフラ整備はしっかり行う



# 総務常任委員会所管事務調査報告

## 「地域自治」と「議会活性化」を学ぶ

10月17日・18日 山形県上市市・川西町

### 調査の目的

当委員会の課題解決に向け、山形県の2つの自治体に行き、上市市議会での「議会改革と議会の活性化に向けた取り組み」、「会派の設置等の運営」を調整し、また「地方自治とそのあり方」について、さまざまな活動を展開する川西町吉島地区「NPO法人きらりよしまネットワーク」の取り組みを調査し、学んできました。



吉島地区センターでの調査風景



サンデー議会の傍聴者

**調査①**  
上市市議会  
活性化への取り組み

上市市議会は、特に議会活性化のため年1回「サンデー議会」を開催しています。

これは、ホームページや公民館だよりに掲示し、ポスターを張り出す等、啓蒙した結果、平成30年で約100人の傍聴者が参加しました。

**調査②**  
「NPOきらりよしまネットワーク」

人口減少・少子高齢化などから、このままでは自治体が消滅する可能性があり、自分たちの手で解決しようと、NPO法人を設立し、この法人に吉島地区の全戸が加入しました。

この中で、地域づくり計画策定委員で協議し、自治・環境衛生・福祉・教育の4つに分割し、行政が担当する・地域で担う・双方の協働で取り組むなど、地域の将来像を描き、地域計画を策定しました。

### 調査を終えて

当委員会では、今回の視察により、地域の賑わいの創出、地域自治のあり方、上市市の議会活性化等、さまざまな交流の中で多くのことを学び、町のために前向きに調査研究をしていく必要があると感じました。

# 建設産業常任委員会所管事務調査報告

## 雨水対策の向上はいかに

10月21日 茨城県つくばみらい市

### 調査の目的

集中豪雨の際、道路の冠水や住宅の浸水被害が度々報告されています。

その対策として、浸透枿の設置などが進められているが、今後も引き続き有効な雨水対策の研究は必要不可欠です。

雨水対策の1つの事例で、「プラスチック製雨水貯留浸透施設ジオプール工法」が、雨水対策の解決策となるのかを調査しました。

### 調査の内容

#### 開発の背景

都市化の進展に伴う道路整備や宅地開発により雨水の地面への不透透が進むと同時に、集中豪雨の多発や局地豪雨化の傾向がみられます。

一方で、増大する廃棄物を前に、資源を有効に繰り返し使用する「省資源循環型社会」が現実のものとなってきました。これらの変化に対応するため、容器包装リサイクル法の適用を受け、るりサイクルフィルム材を原材料に用いて、省資源・資源有効活用と、効率的な洪水抑制を同時に実現する「雨水貯留浸透工法ジオプール工法」として開発されました。

「ジオプール工法」は、より大量の雨水を処理できる施設であり、有効活用が期待でき、今後どのようなような整備手法があるのか、さらに研究を重ねてまいります。

### 主な特徴

- ・貯留率93%の高い空隙率を有する。
- ・1日に約200m組立可能で大幅な工期短縮が可能である。
- ・コンクリート構造に比べ費用を抑えられる。
- ・点検や維持が容易で、点検用入孔を設置し、槽内部に入り目視ができる。
- ・貯留型・浸透型のいずれの用途にも適用できる。
- ・その他、エコマーク取得、耐震性、耐久性等がある。

### 調査を終えて

本町では、これまで浸透枿を中心に対応していたが、貯留率が低いという弱点がありました。「ジオプール工法」は、



駐車場の地下に施工されるジオプール工法

# 議会活性化に向け改革

## 議会活性化特別委員会

### 議会の活性化へ

12月議会定例会終了後の議員全員協議会で、これまでの議会活性化特別委員会の提案をはかったところ、全議員の賛同が得られたので、その内容を報告します。

### 党派設置

党派とは、議会で議員が調査研究をもとに、提言等を行う政策団体として、議員の資質向上と議会の活性化を資するため組織されます。

1人以上かつ議員定数の半数未満で、党派を結成することができます。

各党派間の意見調整等を行うことは、当然必要であるが、それ以前に、政策議論することや党派内での勉強会を実施することで、議会が活性化することを目指していきます。

### 議員間協議

議員間において、意見交換や情報共有が必要であることから、議員間協議を導入します。

執行部から提出された議案等について、議論の中で議員の意見が分かれ、解釈が違っていたり、さらには理解を深める必要があると議員から動議があった場合、または議長が認めた場合は、会議中に議員間協議が開催できるようにします。協議のできる場合は、「本会議」と「議員全員協議会」です。

これにより、活発な議論ができる議会を目指していきます。

また、日頃から議員同士のコミュニケーションをはかれる形を形成し、議会組織として町の課題を共有し、解決に導けるようにしていきたいと思えます。

### 一般質問

執行部との議論をより深めるため、一問一答方式による質問の仕方について協議しました。

時間配分が難しくなる等の課題があり、現状の一括答弁方式のままにすることにしました。

現状の課題として、答弁内容の記録が間に合わず、質問がかみ合わないこともあり、質問者としてのスキル向上を図ることは当然ですが、執行部の答弁書を、質問者に質問直前に貸し出してもらう対応を要請します。

時代の流れとして、当議会でも有効に活用できるか協議しました。

### タブレットの導入

便利な機器を有効に活用するのは議員として当然であり、時代の変化への対応をしっかりと捉え、メリットを最大限活かし、デメリットへはしっかりと対応すれば克服できると考えました。

なおタブレットは、議場で議案書資料を見て審議するだけでなく、いざ災害が発生した時、議員が災害現場にて写真撮影し、地域の状況を議員間で共有したり、執行部へ

情報提供できるなどの活用方法があります。

また、議員が日常で地域の方に、町の現状をタブレットを使用して周知するなど、住民に情報発信することもできます。

このようなことから、タブレット端末の導入費用について、調整を図りながら町へ予算要求することとします。



町民の声を届ける！  
一般質問は議員の責務

### 結びに

今後は、2月の議会全員協議会で条例改正等の議案を協議し、3月議会での議案上程を目指し、4月からスタートできるように手続きを進めていく予定です。



議員として時代の変化に対応しなければ

議会が関心をいだく土づくりセンター&道の駅元気あつぷむら

# 真岡市リサイクルセンター (株)塚原緑地研究所を現地調査

## 調査の目的

現在、町は土づくりセンターを「簡易的な施設」への方針を示したことに  
より、課題をコンサルタントに依頼し整理して  
います。

その結果や施設利用者との協議結果から、最終的な方向性を協議する予定としています。

そこで、課題となつて  
いる施設の適正規模、設計・建設、管理・運営方式など、町が参考にした  
真岡市リサイクルセンターを調査しました。

## 調査の内容

### ○施設の概要

- 稼働開始 平成31年4月
- 建築面積 土づくりセンターの約1.5倍
- 処理対象物 剪定枝等(枝・葉・草)
- 処理能力 1日4.6t
- 運営方式 指定管理方式
- 職員数 事務1名を含む3名
- 運営費 年約3000万円

## 調査を終えて

対象処理物の違いはあるが、真岡市リサイクルセンターの「簡易な施設」は、運営費も修繕費も共に抑えられており、議会として土づくりセンターの簡易的な施設建設に向け、十分に検討していきます。

## 調査の目的

道の駅元気あつぷむらの指定管理者になる「塚原緑地研究所」が運営する施設を、視察および指定管理者としての経営理念を調査しました。

## 調査の内容

- 3か所の施設を調査
  - 千葉ポートタワー(千葉県の観光名所)年間60万人が利用
  - 神栖市ふれあいセンター湯楽々(入浴施設)利用者は増加傾向
  - 神栖市日川浜オートキャンプ場
- ブームであり、利用者は年々増加



休日には家族や仲間と賑わうキャンプ場



指定管理者の経営手腕はいかに

### 塚原緑地研究所社長に聞きました

Q 社員教育の方針は?

A 会社が一番重要なところは人であり、一人ひとりとじっくり対話し、対応すること。

Q 指定管理者として、自由に運営できるのか?

A 仕様書に基づき、運営している。

また、施設に不備があった時には、自費で一部改修もしたことがある。

Q 店舗運営に関する考えは?

A 責任を持って管理するため、直営を基本としているが、ネットワークを駆使し、他の企業との連携も考えている。

Q 農産物直売所運営は?

A 元気あつぷむらの肝であり、直売と食品加工も含め、幅広く売り出していきたい。

農産物の取り扱いは、農家の方々と話し合いの場を設け、対応したい。

Q イベントの開催は?

A 実績を活かし、数多く開催し、婚活なども実施したい。

Q 社員の採用は?

A 元気あつぷ公社の元社員や、地元からも雇用したいと考えている。

## 調査を終えて

4月オープンの「道の駅元気あつぷむら」が賑わうには、いかに来場者のニーズに応えるかが重要であると思います。

新指定管理者の「塚原緑地研究所」は、これまでの経験と実績を十二分に活かして、町民が納得のいく運営をすることを期待しています。

# 第13回議会報告会

## 高根沢の未来を創造する町民と議会の懇談会 「カフェ・ド・ギカイ」



日時 令和元年11月12日(火) 町役場 第3庁舎 大会議室  
内容 9月定例会の内容報告・交通指導員課題共有ワークショップ 参加者数 7名



ワークショップの様子

### はじめに

今回の議会報告会は、町が設置している団体に声を掛け、交通指導員の方々から申込みいただき開催できました。

懇談会で行ったワークショップでは、「道路の安全対策」に対し、多くの課題が出されました。

ワークショップで導き出した見解を基に、各常任委員会で検討した結果の一部を報告します。

なお、全部の意見に対する委員会の対応については、上記のQRコードを読み取り、一覧をご確認ください。

ご参加いただいた交通指導員の皆様、ありがとうございました。

### 課題① 自転車通学路の安全対策

魚鉄付近のT字路交差点が狭く、自転車と自動車の交通量がとても多い状況です。

学生の横断歩道無視など、危険な状況で、安全対策をしてほしい。



一時停止を守り安全に横断を

### 所管委員会調査結果 (総務常任委員)

交通指導員を招いた、交通安全教室の開催を要請するなど、交通マナーの向上にむけ、啓蒙活動に努めてまいります。  
現状を把握し、通学路安全点検プログラムでの合同点検を要望します。

### 課題② 生活道路の安全対策

とりせん北側の道路で、スピードを出す自動車が多く、ほとんどの車が制限速度を超え、子ども達に危険がおよび心配です。

### 所管委員会調査結果 (総務常任委員)

これまでの対策を確認したところ、電柱幕の設置、路面標示、カラー舗装を実施してきました。

更なる対策を調査・研究するよう、地域安全課に要請しました。

また、町から警察に交通パトロールの強化要請をしていただくよう、合わせてお願いしました。



制限速度を守る安全安心な道路に

### 課題③ 外国人の交通マナー対策

和光メガネ交差点で、外国人の方の歩きスマホや、自転車の斜め横断など、交通マナーの悪さが目立ちます。

外国人の転入時に、交通ルールやマナーを勉強する機会を作り、危険な状況を改善していただきたい。



交通マナーを守り、学童を守る

### 所管委員会調査結果 (教育福祉常任委員)

交通マナーのみならず、生活全般の情報を伝達できるパンフレット(多言語)作成を、関係各課等が連携し対応することを要望します。

### 課題④ 通学路の安全確保対策

北小入口の信号機から、正門前まで歩道がなく、保育園児の送迎との時間が重なるため、大変危険である。

### 所管委員会調査結果 (教育福祉常任委員)

こどもみらい課を通じて、ひまわり保育園に保護者への事故防止に対する啓蒙をしていただくよう、要望します。

### 課題⑤ 所管委員会調査結果 (建設産業常任委員)

和光メガネ交差点の街路樹にたくさんの虫が発生する

町は防虫対策として、

年に1〜2回消毒散布しているが、散布時期と害虫発生時期との時間差が生じている現状があり、連絡をいただければ対処するとの事でした。

都市整備課

TEL 675-8107

# 議会から行政へ4つの施策を要望 令和2年度事業への反映になるか？

## 施策要望の流れ

議会では、町民の皆様からの声や、各議員が思い描く町の理想像を、日常の議員活動や、年4回行われる定例会での一般質問などで、行政に訴えかけています。

また、議会という組織では、個々の議員からの施策要望案を各常任委員会の所管ごとに分け、この常任委員会で議論し、町の将来に向け有効になると思える施策案をまとめ、議長から町長へ手渡しています。

今年度は、令和2年度への施策に反映してもらうべく、4つの施策案を要望しました。

要望を受け入れられるかは、3月定例会の次年度予算案で反映されているかで判断されます。

## 要望① 地域コミュニティの再興

### 内容

人と人との関係が希薄になる中、高齢化社会に向けた支え合いなど、安心して暮らせる地域社会を取り戻すために、地域活動を支援する対策が必要です。

町と自治会連合会（区長会の廃止に伴う新組織）の連携に向け、補助事業施策の検討をしていただきたいと思います。

## 要望② ごみコンテナ



コンテナでのゴミ出しは大変!!

### 内容

本町のコンテナは、高齢者等からするとサイズが大きく、運ぶことが困難になりつつあります。

コンテナの大きさについて、調査の実施をするとともに、町が行っている「見守り収集」の周知徹底を図っていただきたいと思います。

## 要望③ 地産地消の推進



町産のおいしい野菜を販売する  
ヴェッキオ®トラム

### 内容

現在、学校給食で地元農産物の使用率は50%であり、地元野菜類の使用率が低いものの、米の使用率が100%のため、全体の使用率が高まっている現状があります。

子どもたちの成長や、農業者の所得向上につなげるため、地元農産物の使用率を高めることは必要です。

食材の仕入れにおいて、規格外で低価格の農産物を扱うことの検討と、野菜類の使用率増加に向けた施策の検討をしていただきたいと思います。

## 要望④ 阿久津小学校の調査

校舎が建設されて5年が経過し、点検が行われたが、校舎へのひび割れ等が見受けられ、安全に使用していくため、今後の対応が求められます。校舎の経過を観察しながら、更なる調査を検討していただきたいと思います。



阿小の屋上の現状。今だ残るクラック等の影響が心配

## 表紙写真の紹介



今回の表紙は、令和になり初めてのお正月を迎え、宝積寺にある「白鬚神社」での初詣で撮影した写真です。

参拝しているのは、阿久津中学校3年生の男子生徒でした。

昨年、無事に一年を過ごせたことを神様に感謝し、本年も良き年となることを願うとともに、高校受験の合格祈願もされたそうです。

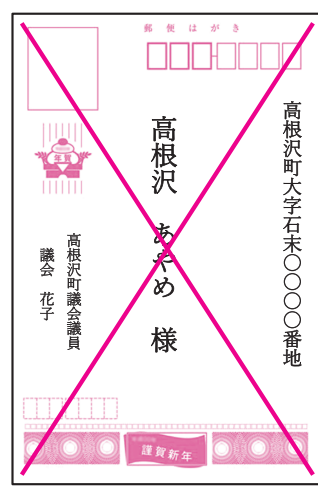
白鬚神社には、毎年参拝に訪れ、年明けとともに奏でられる「雅友会（白鬚神社雅楽部）」の皆さんによる演奏が聞けることや、地元の方々や新年のあいさつができることなど、新年をスタートするのに良い場所だと言っていました。

伝統や文化が、しっかりと若い世代に継承され、地域の発展や活性につながってくれることを切に願います。



# 公職選挙法147条の2

## 政治家の挨拶状は禁止されています 知っていましたか？



**「挨拶状の禁止」**

政治家は、その選挙区内にある者に対して、年賀状などのあいさつ状を出すことが、常時禁止されています。

**禁止されていないもの**

- ・ 弔電
- ・ 各種大会などへの祝電
- ・ ホームページへの挨拶状掲載
- ・ 電子メールでの挨拶状
- ・ 答礼のための自筆によるもの

**禁止される挨拶状とは**

- ・ 年賀状
- ・ 暑中見舞状
- ・ 残暑見舞状
- ・ 寒中見舞状
- ・ クリスマスカード
- ・ 「喪中につき年賀の挨拶を失礼します」という欠礼状
- ・ 年賀電報
- ・ などがあります。

「政治家」とは、公職の候補者、公職の候補者となろうとする者、現在公職にある者です。

- ・ 事項の挨拶を印刷したものに、住所と氏名だけを自署したもの
- ・ 自署した挨拶状をコピーしたもの
- ・ ワープロで作成した挨拶状
- ・ 自署した挨拶状をファクスで送信したものがありません。

「学問の神様」  
で有名な○○○○  
公を祀る

## ちょっとブレイク 中阿久津天満宮



町指定文化財菅原道真公座像

**菅原道真公**

福岡県の太宰府天満宮は、菅原道真公を祭神として祀る天満宮で、初詣には「学問の神様」として「合格祈願」や「学業成就」に、多くの参拝者が訪れることで有名です。高根沢町にも、菅原道真公が祀られている場所があるのは、御存じですか？

**中阿久津天満宮の歴史**

中阿久津天満宮には、町指定文化財と、有形文化財になっている、「菅原道真公座像」が保存されています。天満宮が、中阿久津に祀られたのは正徳3（1713）年で、現在の御神体が祀られたのは、安政2（1855）年と言われています。

明治35年に、菅原道真公没後1000年を記念して再興されましたが、損傷が大きくなったことから、平成7年10月に再修復されました。菅原道真公座像(木像・像高54cm)の胎内には、「安政2年製作者高田運刻・連春」と墨書



中阿久津・中妻子ども会のお子さん達も参加して芝居を奉納

きがあり、顔は江戸時代初期まで行われた「怒り天神」と言われ、憤怒の表情を持ち、江戸時代末期のものとしては珍しいものだそうです。現在も、祭日（3月第一土曜日）には、学問成就の神として絵馬、折鶴、書道の展示や、子ども会も参加する寺子屋等の芝居が奉納されています。皆さんも、歴史に触れてみては、いかがですか？

# 町政を問う！

## 6人の議員が登場

- ◆佐藤 晴彦 議員…………… 16
  - ①防災対策の強化を
  - ②農産物を活かした政策推進を
  - ③日本語教育の実施を
- ◆齋藤 誠治 議員…………… 17
  - ①台風19号が記録的災害をもたらしたが、今後の本町の対応策は
  - ②身近な道路等の整備状況は
- ◆鈴木伊佐雄 議員…………… 18
  - ①宝積寺駅東口を核としたまちづくりの推進は
- ◆森 弘子 議員…………… 19
  - ①災害時要援護者の避難情報・誘導の支援は
  - ②新一年生にランドセルの無償配布を
- ◆高根 博 議員…………… 20
  - ①高齢化社会における認知症対策は
  - ②今後の農道の修繕と整備は
- ◆小林 栄治 議員…………… 21
  - ①町内に在住する外国人との共生をどう図る
  - ②地産地消の推進を

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

## 一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

質問する議員は、質問の構想を練り理論構成をして質問にのぞんでいます。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

詳細は、[YouTube](#)や[DVD・会議録](#)をご覧ください。

### YouTube

各議員一般質問のページにあるQRコード、または、「高根沢町議会第396回」で検索

### DVD・会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行しています。

役場・図書館(中央館・仁井田分館・上高根沢分館)で貸出し、閲覧ができます。



暮らしの政治を見よう  
**議会傍聴へお越しください**

次回の定例会は3月3日～18日の予定。  
 日程詳細・議事録は、町ホームページをご覧ください。



傍聴の手続き

議会の情報をより早く皆様へ

今回の発行は4月20日になります。

「議会だより」表紙写真募集

写真は町内のイベントや人物、風景を撮ったものをデータで提出してください。皆様のご協力をお願い致します。(データは返却いたしません)

広報誌がスマホで見れて便利

「マチイロ」 & 「栃木イーブックス」を検索



マチイロHP



トチギーブックスHP

# 閻防災対策の強化を 答【町長】道路冠水対応策を検討



佐藤 晴彦 議員



## 災害への対応

**Q** 10月12日の台風に対し、災害対応における課題と反省点は？

**A** 町長

地域防災計画に基づき対応したが、「自主避難所」開設の情報が、十分に伝わらなかった。情報発信や、長期間の災害対応、大規模災害時の職員配置など、更なる課題の洗い出しを行い、地域防災計画に改善点を反映し、今後の災害対応に役立てていく。



現在のハザードマップ

## 防災意識の醸成

**Q** 住民に対し、防災意識の啓発や、情報収集伝達などについて、町が地域単位での出前講座を行うことはどうか？

**A** 町長

防災意識や知識の周知・啓発は課題と認識しており、出前講座の実施について検討していく。

## Q

現在のハザードマップは、国交省の「洪水浸水想定区域図」を反映しているのか？ また、今後さらに巨大化した台風を想定して、ハザードマップの更新を図るべきと考えるが？

**A** 町長

「平成28年度版国交省水害ハザードマップ作成の手引き」の「洪水浸水想定区域図縮尺」など、一部の事項が反映されていない。

来年度作成予定のハザードマップで反映させるとともに、来年3月に県が公表予定の、「五行川」や亀梨地内の防災重点ため池「大溜」決壊による浸水想定区域図も取り入れていく。



水の勢いでえぐられた路肩（伏久地内）  
道路が寸断されてもおかしくない

## Q



水路の水があふれ田んぼに押し流された稲わら（伏久地内）

## 冠水道路への対策

**Q** 台風19号の時に、冠水した町道があったが、今後どのような対策を考えているのか？

**A** 町長

今回、冠水した町道は3箇所あった。原因に、道路の高低差が考えられるが、単に道路を高くするのではなく、周辺への影響を十分に考慮し検討していく。

また、農業用排水路の構造上の問題があり、施設管理者の「高根沢土地改良区」や「鬼怒川東部土地改良区」が計画的に水路・水門等の改修を行っている。  
町として、町民の生命と財産を守る責務があり、引き続き改善を働きかけていく。

## 閻農産物を活かした政策推進を 答【町長】ふるさと納税 返礼品に必要



## 町内産農産物の活用

## Q

令和の大嘗祭で、悠基地方の斎田に選ばれ、県のブランド米「とちぎの星」と「高根沢町」、そして「大田主石塚毅男氏」が全国的に知れ渡りました。

本町の「ふるさと納税の返礼品」に、本町の「とちぎの星」を取り入れてはどうか？

また、本町のおいしい農産物を活かした「観光施策」や「6次産業化」を展開してはどうか？

**A** 町長

町は、この機会を入りに、町農産物の認知度向上、イメージアップなど、町全体の魅力発信に総合的・戦略的に取り組むため、全課を挙げて「とちぎの星」ブランドディング会議を開催した。

具体的な取り組みに、JA協力のもと大嘗祭と同日に「たんたんプラザ」で、「とちぎの星」の特別販売会を開いた。

町のブランド発信の観点からも、ふるさと納税返礼品にラインナップすることは必要と考えており、関係者と協議を進めていきたい。

また、観光施策や6次産業化は、行政が制度設計するより、意欲ある業者等が自発的に取り組むほうが成功に繋がると考え、状況にあった側面的支援を行っていく。



たんたんプラザでの販売会の様子  
本町産米のブランド戦略はいかに





## 閩災害時における給水体制の整備は

答【町長】給水タンク2台、

6リットル用ポリ袋1900枚常備

齋藤 誠治 議員



災害

災害時の給水体制は  
大丈夫？

Q

災害時における、給水車や給水用具の整備状況と、応援体制の取り組みは？

A

町長

本町は、車載用の給水タンク1.5tを1台、1tを1台保有しており、この他に個別用の6ℓ用ポリ袋を、約1900枚常備している。

災害時に、これらの給水用具で不足が生じた場合は、県内市町との協定に基づき応援依頼や、自衛隊への要請をする。

また、他市町から本町に応援要請があった場合は、本町ができる範囲で対応することになる。

災害に強いまちづくりを行う上で、多種多様な分野に視野を広げ、災害時に必要な協定を取り組んでいく。

避難所の見直し

Q

避難所及び立地条件等を調査し、見直しの検討が必要だと思いが？

A

町長

避難の仕方や、避難所開設の考え方は、台風での水害や地震などの災害の種類、被害状況や影響の度合いに応じて違うと考えている。

よって、現在行っている地域防災計画の見直しの中で、避難所の立地条件や、開設する判断レベルなども含め、見直していく。



給水！災害時はこれで安心

## 閩路面性状調査による道路の整備状況は

答【町長】道路延長719.2mを整備

修繕道路



安全のために効率的な道路補修を

安心できる町道を

Q

路面性状調査に基づき、優先順位をつけ、道路の修繕等を実施しているのか？

A

町長

路面性状調査は、平成26年度に、町道のわだちや、ひび割れ等の路面の状況を調査し、道路の破損状況を客観的な指数で把握することを目的に実施した。

この調査結果に基づき、平成27年度～30年度までに、道路延長719.2mを整備した。

舗装の修繕を効率的に実施するため、今後も路面性状調査の結果を活用するとともに、道路評価システムによる要望状況も踏まえ、優先順位をつけ道路の修繕事業を実施していく。

老朽化する橋梁

Q

効率的で確実な維持管理を行うため、橋梁長寿命化修繕計画を策定したが、現在の整備状況は？

A

町長

平成30年度に、点検対象の全206橋の点検が完了した。

点検結果で、早期に修繕を要する橋梁が2橋あり、上高根沢地内の「町道24の1号橋」は、平成30年度に修繕工事が完了し、平田地内の「町道421の7号橋」は、今年度（令和2年度）に詳細設計を行い、令和2年度に橋梁の更新工事を行う予定である。



これで安心して通行できます（上高根沢地内の橋補強）

# 問 クリエイターズ・デパートメントの活性化は 答【町長】ファシリテーターとしての 機能強化を図り支援



鈴木伊佐雄 議員



創業



新たな賑わい創出に期待

## 創業支援

Q

クリエイターズ・デパートメント1期生が、本年10月に卒業したうえで、この成果をどう評価しているのか？

A

町長 4店舗のうち2店舗は、町内で創業した。

この他の2店舗は、2年間の経験をもとに、実店舗を持たず、ネット販売やマルシェイベント等に出席する自分にあつた経営形態を選び、賑わい創出に参画することにした。この支援施設により、今までにない素敵な店が増え、「住んで楽しい町」「訪れたい町」として、魅力の向上に繋がった。

## 賑わい創出

Q

移住・定住・創業支援センターとしての役割・機能を担っているが、どの様に評価しているのか？

A

町長 平成29年度の来場者数は412人、翌年度879人、今年度10月時点では1125人となり、右肩上がりに推移してきた。

駅前前の賑わい創出事業として、「ロックサイドマーケット」、「ソラシタ夜市」等で得た交流人口を、移住・定住・創業の検討へと誘導する役割も担っている。今後、これらを増加すべく、ファシリテーター（先導者）としての機能強化を図り、きめ細かな支援を続ける必要があると考えている。

## 交流人口増加

Q

ロックサイドマーケットなど、駅東口のまちづくりの取り組みと成果を、「道の駅たかねざわ元気あつぷむら」に繋げる必要があると思うが、具体的な施策の展開を考えているのか？

A

町長 ロックサイドマーケットの目的は、交流人口の増加で、リニューアルオープンする「元気あつぷむら」に繋げるためのものでもある。

施設自体を整備しなくても、こだわりの持った人を引き付ける、魅力的な作品・商品が集まることで、テナントを連ねた販売型でも賑わいが生まれ、指定管理者と共に、「ここにしかない空間」として事業運営にあたる。

## 問 ちよつ蔵広場 商業支援施設の見直しを

開業

### 駅前活性化

答【町長】条例の見直しを検討

Q

駅東口と連絡通路等の指定管理について、クリエイターズ・デパートメント等、町主導の活動と比較すると、「まちづくり」の視点では、施設としてのポテンシャルを活かして、力を出し切っていないと感じるが、どのような協議をしているのか？

A

町長

まちづくりに対し、勢いの差を感じるところであるが、音楽イベントや、地元野菜販売を行う「ベジマ」等、好評を得ているものもあり、評価はしている。指定管理者へ全て任せるとはなく、駅前の賑わい創出に向けた、助言や仕掛けが必要であると認識している。

## 新規開業支援

Q

ちよつ蔵広場の商業支援施設は、町内で本格開業を目指す方々を支援する施設であり、一定の期間で店舗が入れ替わるべきと考えるが、将来的に条例の改正を含めて見直す考えはあるのか？

A

町長

町の契約は、原則3年、最長5年だが、現在5年を超えている状況である。適正な運用を図るため、条例の見直しを検討する。



この広場で何を創造できるか？



# 問 災害時要援護者の避難情報・誘導の支援は 答【町長】個別の支援は行っていない



森 弘子 議員

災害

## 災害時要援護者

**Q** 「災害時要援護者登録制度」の登録状況は？

**A** 町長

町では、災害時要援護者対応マニュアルに基づき、一人暮らしの高齢者や高齢世帯、要介護3以上の認定を受けている方や、重度の障害を持っている方を対象に、災害時要援護者台帳登録などを進めている。  
登録状況は、令和元年10月末で699人、地域の支援者へ情報提供の同意者数は、637人。  
台帳の登録に係る要援護者の調査は、社会福祉協議会に業務を委託して実施している。

## 避難情報の伝達と支援

**Q** 台風19号の際、災害時要援護者に対して、どのような避難情報の伝達と、避難誘導を行ったのか？

**A** 町長

個別に避難情報の伝達や、避難誘導の支援は行っていないかった。  
今後は、災害時要援護者台帳への登録時に、災害時協力員をあらかじめ決めてもらうよう促すことや、自治会や民生委員など、関係機関と協議しながら、災害時要援護者対応マニュアルの見直しを検討していく。

## 避難所にエアコンを

**Q** 災害時に、避難所となる学校体育館へ「※緊急防災・減債事業債」を活用し、エアコンを設置しては？

**A** 町長

平常時は、学校施設として使用するものであり、学校施設の整備計画の中で検討をしていく。  
「緊急防災・減債事業債」を活用したエアコン整備は行わない。  
※「緊急防災・減債事業債」とは  
東日本大震災を教訓として、災害時に災害対策の拠点となる公共施設及び公用施設と、耐震化に活用できる地方債で、国負担70%・町負担30%の割合です。

## 問 新一年生にランドセルの無償配布を 答【教育長】実施する考えはない

子育て支援

## 子育て支援

**Q** 若い世代の経済的支援に、新1年生全員へランドセルの無償配布を行うって？

**A** 教育長

一部の市町村で、子育て支援の一環に、新1年生全員や希望者に、ランドセルを無償配布している事例はある。  
この制度は、無償配布したランドセルを必ず使用するよう強制するものではない。  
本町では、実施する考えはない。

## 子育て世代包括支援センター

**Q** 平成30年4月に開設した、「子育て世代包括支援センター」の取り組み状況は？

**A** 町長

妊娠期から切れ目のないサポートを行い、地域の中で安心して出産育児ができ、産後うつや虐待の早期発見と予防を行うことを目的に開設した。  
母子手帳交付時に、保健師や助産師が面接し、精神・環境的な問題がないかを把握し、個々に合った支援やサービスを行っている。



災害時要援護者登録制度



地域福祉活動の拠点となっている社会福祉協議会



高根 博 議員



# 問 高齢化対策における認知症対策は 答【町長】制度の啓発を図る



## 認知症の早期発見

**Q**

認知症の早期診断・早期対応のため、「認知症初期集中支援チーム」の設置が義務づけられているが、町の対応は？

**A**

町長

平成30年度に、西地域包括支援センターで立ち上げ、認知症サポート医1名、保健師2名、看護師1名、主任ケアマネージャー1名の計5名で対応している。  
平成30年度は、年4回のチーム会議で、個別の対応について検討し、個々のケースに応じてケアマネージャー等が継続的に支援している。  
今年度も、昨年同様に実施していく。

## 認知症を支える人材の養成

**Q**

認知症サポート・養成への取り組みは？

**A**

町長

「認知症サポーター」は、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族へ、できる範囲で助けをする人材である。  
養成は、平成20年度から議会議員や町職員、各種団体や民間企業、更に小学生を対象とした講座も開催している。  
特に、小学生向けの養成講座は、学童期から正しい知識を身につけるだけでなく、同時に高齢者への優しい心や、社会的弱者への思いやりを持つ等、心を豊かにする教育にも通じている。

## 人としての尊厳を

**Q**

成年後見制度の普及啓発は？

**A**

町長

判断能力が十分でない方の財産が侵害されたり、人間としての尊厳が損なわれないよう、保護・支援を行う制度です。  
西地域包括支援センターで、成年後見制度の啓発を行うとともに、窓口での各種相談や申立手続支援、年6回の「成年後見無料相談会」を開催している。

# 問 農道の修繕と整備は 答【町長】自然の形に戻すことも適当な場合も



## どうなる今後の農道

**Q**

安心安全のため、今後どのように農道整備を行うのか？

**A**

町長

現在、約90kmの農道があり、そのほとんどが町道である。  
その維持管理では、多額の費用や人材が必要で、現在の財政状況を考えると、今までの利用形態を考慮し、自然の形に戻すことも適当な場合もあるのではないかと思う。  
それぞれの箇所ごとに、最適かつ最良な方法を判断していく。



路肩が崩れ危険な農道 早期修繕を



# 問※ダイバーシティ、外国人との共生をどう図る 答【町長】行政情報は、きめ細やかに提供



小林 栄治 議員

外国人

## グローバル社会の到来

Q

町内在住の外国人に対し、医療やゴミの取り扱いなど、生活上のルールや行政サービスの情報提供はどのようにしているのか？  
また、外国人案内に専門職を配置することも必要と思うが？

A 町長

外国人住民に対し、主要な情報提供の手段は、「町ホームページ」と「広報たかねざわ」である。  
町ホームページに、日常生活に必要な情報を掲載するとともに、 구글の翻訳機能を利用して、英語・韓国語・中国語の表記による閲覧を可能にしたことで、外国人住民への情報提供に努めている。



多くの外国人と町民が楽しく交流する良い機会です!!

※ダイバーシティとは

多様な人材を積極的に活用して、その人たちの能力を活かす考え方のこと。

また、住民課の総合窓口

口に用意した、手書き及び音声での翻訳機能付きタブレットで、対応はできていると考えている。よって、専任職員の配置は、現在のところ検討していない。

## 言葉のバリアフリー

Q

学校現場で、外国人の子ども達に対する教育環境を、どのように整えているか？

A 教育長

日本語が理解できず、学習が大きな負担になっている外国人児童生徒がいることも事実である。  
小・中学校では、非常勤講師等や配慮児支援対応の支援員による、個別支援を行っている。

さらに中学校では、学校支援ボランティア、宇都宮大学の学生ボランティアとの連携を図り、支援している。



黒板には英語 国際化の証しです

## 問地産地消は健康増進の基

答【教育長】学校給食では、

町内産の農産物を積極的に使用

地産地消

Q

学校給食で、過去3年間の決算ベースにおける町内農産物の利用割合は？

A 教育長

「食育、地産地消推進行動計画」をもとに、野菜穀物の利用率は、決算ではなく重量ベースで管理し、平成28年度は54%、平成29年度は55%、平成30年度は56%である。

## 食料の供給力



直売所には今日も新鮮な食材が

Q

地産地消を進める上で、農の振興、健康づくり、食育など、関係機関でプロジェクトチームを組織することが重要と考えるが？

A 教育長

学校給食センター、学校教育課など、庁内の関係各課が連携・協力し「食育、地産地消推進行動計画」の策定を行っており、「食育・地産地消」の推進に向け、関係機関を交えて具体的に取り組んでいく。

食育PTは必要だ

# (「高根沢町4Hクラブ」)に聞く!

## 4Hクラブとは

高根沢町は、見渡す限り田んぼの町で、その日々の管理は、農業者の努力により、今の風景があります。

今、若い担い手が減少している中で、活発に活動している若手農業者のグループ「4Hクラブ」の活動や抱負、今後の本町農業のスタンスなど、小川会長始め、会員の皆様に伺いました。

## 4Hクラブってなに?

将来の農業を支える若い農業者が集まった集団です。

4Hとは、Head (頭脳) 科学的に物ごとをとらえることのできる頭、Hand (技術) 農業の改良と生活改善に役立つ腕、Heart (心) 誠実で友情に富む心、Health (健康) 楽しく暮らし、元気で働くための健康の、頭文字をとったものです。

## 主な活動は?



小川会長

農業を経営する上での課題を検討し、高い農業技術を確立するための研究活動や消費者、他の4Hクラブとの交流、町内の幼稚園、保育園などの子ども達と行う農業体験など、地域活動をしながら、農業と社会の架け橋を創っています。

### ①Tシャツの活用

公式Tシャツを積極的に着用し、各種イベントに参加し、クラブ員同士の団結力を高め、栽培した品質の高い農産物を販売し、その価値を広く周知しています。



公式ロゴ入りTシャツが完成

### ②子どもたちに体験学習

例年、幼稚園・保育園を対象に、「さつまいもの定植・収穫」等の農業体験を行っています。

今年は、町外の子ども達も参加する機会を設け、焼きいもをふるまう事業を行いました。

### ③地産地消の一躍

クラブ員が栽培した「さつまいも」を、町内の飲食店等に提供し、各飲食店がメニューの開発をするなど、地産地消の推進に一躍を担っています。

### ④地域農業を守る

町内で、新規就農意向者を積極的に受け入れ、施設見学や相談等を実施して、将来の地域農業を守る活動を行っています。

### ⑤イベントに参加

私たちが生産する魅力が高い農産物をPRするため、率先して「たんたん祭り」、「ホンダ祭り」などに参加しています。



— 高根沢町 4Hクラブのみなさん —

現在クラブ員は15名在籍しており、20代から30代の若手農業者で構成

# 若い力で農業を守る！新たな担い手



美味しい焼きいもができた!



わ〜い!大きいさつまいもが掘れたよ!



みんなで楽しい農業体験



農林水産省経営局長賞(全国2位)おめでとう!



さくら市と情報交換会



たんたん祭りで楽しい交流

写真で見ると2019年の主な活動

## クラブ員の声

### 今後の抱負

4Hクラブとして、本の農業を今後どのようにすべきかなど、「思い」や「抱負」を聞きました。

①「大嘗祭」に、「とちぎの星」が献上されたことをきっかけに、少しでも若い人たちが「農業」に関心をもってもらえる活動をしたいと思います。

②家族経営から、法人化等も視野に入れるとともに、ITを積極的に活用した、「スマート農業」を率先して導入し、魅力的で、やりがいのある農業経営を行っていきます。

③減農法により、有機たい肥をふんだんに使用し、「安全安心」な美味しい農作物を、多くの消費者に提供していきます。

④地域農業、産業を盛り上げ、活性化に繋いでいきます。

### 町に対する要望

今後の農業行政に対する意見・要望は?

①「安全・安心」な農作物を栽培するには、有機たい肥が必要不可欠なので、「土づくりセンター」の早期稼働を望みます。

②令和2年4月にオープンする、元気あつぷむらの農産物直売所の運営方針等が凄く気になります。

③農道・水路などのインフラ整備や、若い人たちが農村部でも生活ができるよう、農地の宅地化「土地利用の規制緩和」をお願いします。

④町、議会、JA、土地改良区、農家の連携を望みます。(関係機関がワンチームになること)

⑤新規就農者に対し、アフターフォローの充実を図ってほしいです。

### 取材を終えて

若い担い手、後継者不足が深刻化する中、4Hクラブの皆さんには、ぜひ本町農業者の「顔」となり、いずれは地域における中核的な担い手として、活躍することを期待しています。

今後も議会は、ワンチームの一員として、持続可能な農業の発展を目指し取り組んでまいります。忙しい中、取材協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



若い農業者の話に勢いを感じ将来に期待!

広報委員の突撃インタビュー  
あなたの声を町政に

イタリア料理で高根沢を元氣UP



イタリアレストラン開業から3年。多くの人が愛されるオーナーシェフに、高根沢への想いを聞きました。



∞プロフィール∞  
やすし  
**照井 康嗣さん**

お住まい：伏久  
(出身地 埼玉県熊谷市)

趣味：旅をすること  
職業：レストラン経営



**佐藤** 本日はお忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございます。宜しくお願いします。宜しくお願います。

早速ですが、高根沢町に移住してきて、感じたことを率直に？

**照井** 恵まれた資源と環境の良さ、そして郷土への誇りを持つ町民がいることです。

私自身、この町に来て、郷土を誇りに思う気持ちが強くなりましたね。

また、当たり前の変わらない風景のようですが、季節により移り変わる田園風景は、イタリアでの生活を感じさせてくれて、とても好きです。



広報委員でおいしい料理を堪能

**佐藤** 照井さんは、イタリアや東京などで修業したと伺ってましたが、そこでの学びや、イタリア料理に対する思いを聞かせてください。

**照井** イタリアの人は、郷土への思いや誇りをそれぞれが持つっており、自分にこの感性がなかったことを気づかされたのが、一番の学びでした。

東京では料理長として経営能力や、料理への執着のみならず、お客様の求める感覚を学びました。また、イタリア料理の原点は「マンマ（イタリア語でお母さん）の家庭料理がベースで、シンプルに素材を生かした料理を、わかりやすく、だれが食べてもおいしいと思える料理なので、この原点を意識して料理を作っています。

**佐藤** 開業するのに、苦労や不安はありましたか？

**照井** 土地勘も無く、知り合いもない、現状調査もできず、不安でした。

でも、「絶対やれる、やってやる」と自分に言い聞かせ、開業しました。

また、開業するのに多くの方に助けられ、この町での出会いに感謝しています。



生産者とのコミュニケーションを大切にする照井シェフ

**佐藤** 町の発展に、何が必要と感じますか？

**照井** 明確には言えませんが、もつと町に魅力を作ることだと思います。

柔軟性を持って、良いものを取り入れ、若い人材がこの町で成長していく、楽しい町づくりを期待しています。

私としては、自分の個性と培ってきた経験で、自分らしく郷土に貢献していければと考えています。

**佐藤** 最後にお店のPRをお願いします。

**照井** 私たちは、「この町の農産業と郷土と共に、イタリアの食文化を伝えていく」というコンセプトのもと運営し、この町での魅力を町外に発信していきます。

ぜひ、お店にお越しいただき、郷土を感じる料理を味わっていただければ、幸いです。

皆様のご来店を、心よりお待ちしております。

P・S 農産物移動販売の、ヴェッキオ®トラムも絶賛運行しますの、こちらでも宜しくお願います。

**ヴェッキオ・トラム営業時間案内**

営業時間  
Lunch : 11:30~15:00 (14:00Lo)  
Dinner : 17:30~22:00 (21:00Lo)  
定休日：日曜日  
貸切ご予約承ります！

〒329-1225  
高根沢町石末1785  
TEL : 028-680-3550

取材を終えて

照井さんのイタリア料理への想いや、高根沢に対する愛を感じ、未来に向かい、この町の発展や活性が、まだまだ創造できると思いました。

多くの方とのご縁を大切にしている照井さんの人柄に触れ、「ヴェッキオ・トラム」のファンになる方の気持ちがありました。

私たち議会も、より一層多くの町民と交流、対話をし、高根沢の未来を一緒に創造できれば、「誰住んでよかった町 高根沢」になると思えました。